

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

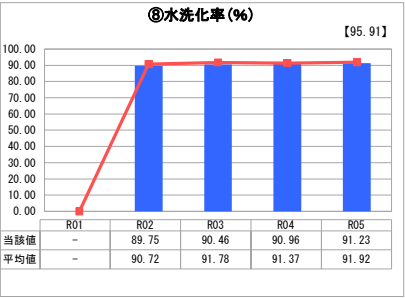
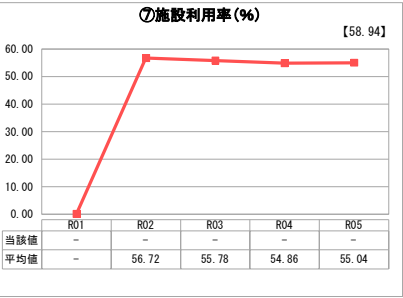
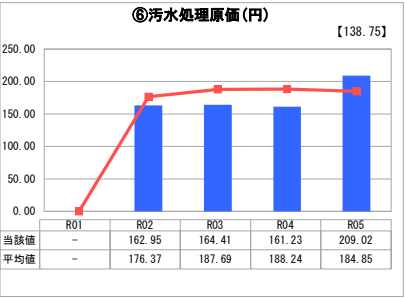
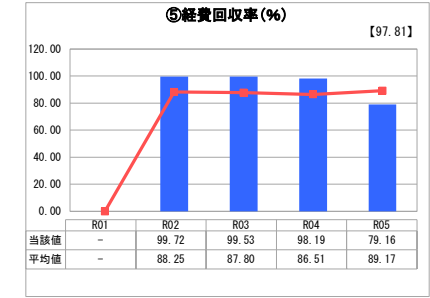
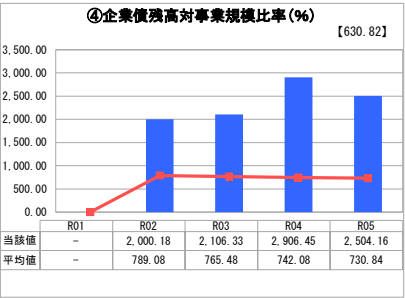
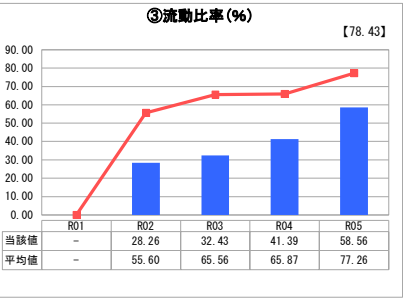
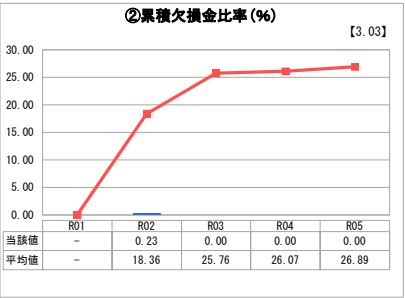
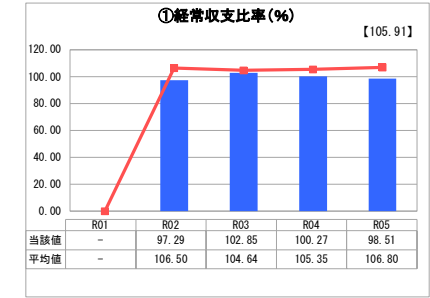
富山県 小矢部市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	42.52	35.71	76.80	3,300

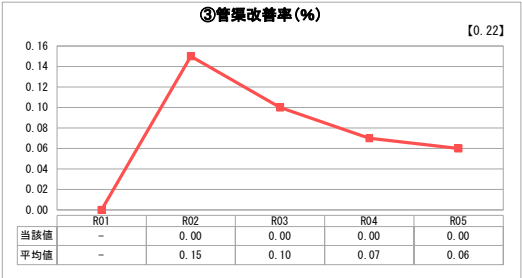
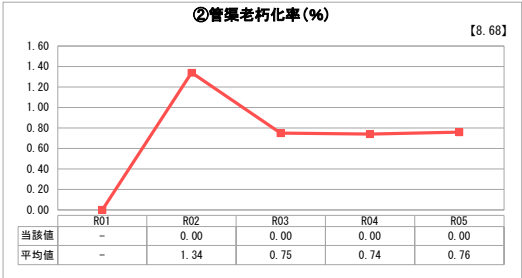
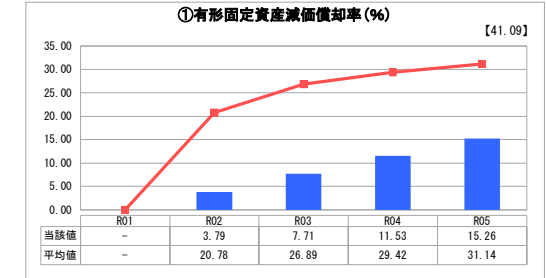
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,356	127.03	223.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,068	4.08	2,467.65

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率  
類似団体平均値の3/4程度となっており、その要因としては、流動負債の建設改良に充てた企業債が高いためである。建設整備の完了後は企業債残高が今後減少する予定であるため、数値は改善していく予定である。

④企業債残高対事業規模比率  
類似団体平均値の約3.5倍となっており、その要因としては、投資効率の低さから高水準となっている投資規模に対して使用料水準が低いことが挙げられる。

⑤経費回収率  
類似団体平均値を下回った要因は、能登半島地震に係る汚水処理費の増加にある。

⑥汚水処理原価  
類似団体平均値を超過した要因は、能登半島地震に係る汚水処理費の増加にある。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率  
法適用後の経過年数が少ないため、類似団体平均値を下回っている。

②管渠老朽化率及び③管渠改善率  
法定耐用年数(50年)を経過した管渠はなく、改築・更新時期を迎える段階にはない。(H2.4.1使用開始)

## 全体総括

投資効率の低さから高水準となっている投資規模に対して使用料水準が低いことにより生ずる資金不足は、専ら一般会計からの多額の繰出金(基準外の繰出しを含む。)、すなわち公費で解消されており、これらの原資が市税であることを踏まえれば、建設整備が完了し、施設更新・維持管理に移行する時期には、適正な使用料水準への見直しを検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。